令和5年度地域公共交通シンポジウムin中部 令和5年11月28日

地域交通の充実による 暮らしに寄り添う まちづくり

~藤枝市における共創の取組~

藤枝市都市建設部地域交通課

主幹·新交通推進係長 松 下 武 人 新交通推進係主任主事 大 石 竜 己



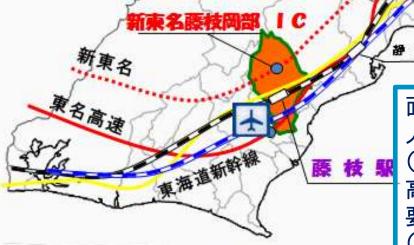
藤枝市の紹介

主要路線による交通の要衝富士山静岡空港まで25分

産業:

茶やみかん等の農産物 地酒・スイーツ 乾しいたけの流通等 魅力ある産業が多数

- ・静岡県のほぼ中央、静岡市の西隣
- ・東海道の宿場町
- ・「ほど良く都会 ほど良く田舎」
- ・ごみ排出量少なさ 全国第6位



面積:194.06㎞

人口:141,342人

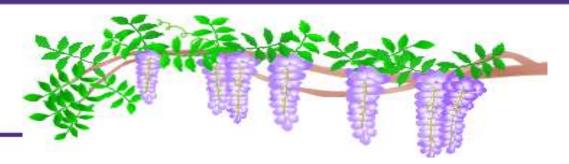
(令和2年度国勢調査)

高齢化率:31.0%(R5.4月)

要介護(要支援)認定率:16.4%

(R4.9月)

説明の内容



1 藤枝市のまちづくり政策と地域交通政策

~×暮らし×地域交通⇒まちづくり~

2 次世代を見据えた共創

~共創プラットフォームへの支援~

1 藤枝市のまちづくり政策と地域交通政策

暮らし×地域交通⇒まちづくり

(1) 藤枝市の都市の特徴

昭和の合併で9町村が合併平成の合併で1町が合併

瀬戸谷、稲葉、葉梨、西益津、広幡、

藤枝、青島、高洲、大洲、岡部

10地区の生活を支える公共施設・都市機能が分散

(2) 市全体の課題

- □商業集積の低下と民間バス路線の縮小
 - ○商店街の賑わい低下
 - 生活・活動拠点としての魅力や利便性が低下
 - ○民間バス路線の縮小 (H16)16路線⇒ (H21) 8路線
- □製造品出荷額、就業人口が減少傾向
 - ○製造品出荷額 平成21年に<u>最近20年で最も少なく</u> 平成22年には回復
 - ○就業人口 平成12年を境に減少傾向
- □人口減少·超高齢社会·若年層市外流出

(3) まちづくりの基本理念と都市像

- ■第6次藤枝市総合計画 "幸せになるまち"藤枝づくり
 - ~まち・自然・文化と共生 未来への飛躍~
- ■藤枝市都市計画マスタープラン 活力あふれる未来に誇れる元気な都市 ふじえだ
- ■藤枝市立地適正化計画 まちの中心となる拠点と 個性豊かな様々な拠点が結びつき 誰もが・どこでも いきいきと暮らせるまちづくり

拠点集約型 都市構造 の構築

(3) まちづくりの基本理念と都市像



拠点集約型都市構造

居住 養導区域 拠点



地区交流 拠点

拠点

地区交流

地区交流

拠点

地区交流 拠点

コンパクト+ネットワーク

新產業居住環境街道文化



■藤枝市立地適正化計画

"強み"を活かした都市構造

●乗降客の多い鉄道駅 →都市拠点

(JR藤枝駅:平均11,502人/日)

●集客力のある総合公園 **→文化交流拠点** (蓮華寺池公園:年間150万人)

●広域交通網 **→新産業拠点** (新東名・東名IC、富士山静岡空港)



中心市街地活性化基本計画に基づく駅周辺の整備

第1期計画(H20~H24)

藤枝駅周辺

にぎわい再生拠点施設整備事

(暮らし・にぎわい再生事業、

まちづくり交付金事業)

藤枝駅光洋台線実証実験

(公共交通利便增進事業)

廢枝駅

一言木地区

区画整理 H2年~H23年

♪駅前地区

街なか居住促進エリア 区画整理 S43年~H元年

第2期計画(H25~H29)

1-8街区市街地再開発事業 (社会資本整備総合交付金)

第3期計画(H30~R4)

田沼街道踏切改良事業

(都市構造再編集中支援事業) 街なかシェアサイクル構築事業 (都市構造再編集中支援事業)

第4期計画(R5~R8)

1-6街区市街地再開発事業

1-9街区市街地再開発事業

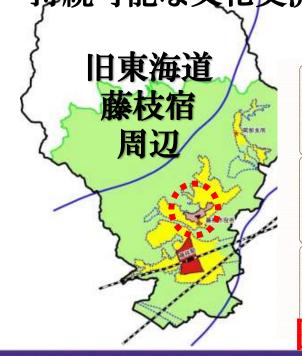
(社会資本整備総合交付金)

居住人口 H25:10,303人 → R4:11,246人

旧市街地再生基本計画に基づく藤枝地区再整備

「歴史・文化」と「緑」の調和多様な人が暮らし回遊する持続可能な文化交流・生活拠点 【立適計画上:文化交流拠点】

基本目標1 居心地がよく「歩きたくなる」まち 基本目標2 誰もが「住みたくなる」まち





都市機能を集約 クでつなぐ 〇市街化区域(都市計画区域の18%) 交通ネットワ)都市計画区域

民間バス路線・自主運行バス路線の維持

暮らしやすさにつながる交通サービス確保・充実

- ○居住誘導区域(市街化区域の81%)

旧東海道藤枝宿周辺の旧市街地

- ○都市機能誘導区域(文化交流拠点)
 - ※旧東海道藤枝宿
 - ※藤枝市役所周辺
 - ※蓮華寺池公園が近接

バス停型乗合タクシー運行

JR藤枝駅周辺の中心市街地

○都市機能誘導区域(都市拠点)

自主運行バス実装、シェアサイクル整備 民間主導AIオンデマンド交通実証実験

(5) 交通ネットワークの維持・形成



(5) 交通ネットワークの維持・形成

共交通計画における 拠 藤枝駅ゆらく線 点 間 地 域 藤枝相阜線 内

鉄道 JR東海道線

バス路線

- 中部国道線
- 焼津岡部線
- 五十海大住線
- 藤枝相良線
- 藤枝吉永線
- 志太温泉線
- 駿河台線
- ・富士山静岡空港アクセスバス(自主)
- •相良渋谷線
- ・東京ディズニーリゾート線
- 葉梨線
- 駅南循環善左衛門線(自主)
- 駅南循環大洲小学校線(自主)

拠点間

- 朝比奈線(自主)
- ・ 藤枝駅ゆらく線(自主)
- 大久保上滝沢線(自主)

乗合タクシー(自主)

- ・藤岡地区乗合タクシー
- バス停型乗合タクシー 藤枝駅広幡線
- ・バス停型乗合タクシー 藤枝駅光洋台線
- ・バス停型乗合タクシー 五十海市立総合病院線

民間バス路線 撤退後に

小型輸送に転換 効率を図り

ネットワーク維持

(6) 乗合タクシーによるネットワーク確保 ① 乗合タクシー導入の背景

市内民間運行路線名

志太温泉線

駿河台線

中部国道線(静岡)

五十海大住線

藤枝吉永線

藤枝相良線

瀬戸ノ谷線

大手市立病院線

藤枝忠兵衛線

中部国道線(六合)

葉梨線

大覚寺線

平成19年度~ 21年度

民間バス路線 6路線が相次ぎ 廃止へ

実証運行を経て 自主運行路線へ 移行

移行後

混雑時に20人以上乗車 大量輸送として維持

存続



藤枝駅ゆらく線

路線廃止

大手市立病院線

市自主運行

藤枝駅南循環線

藤枝駅光洋台線

短縮・廃止等 民間による路線再編

(6) 乗合タクシーによるネットワーク確保 ① 乗合タクシー導入の背景

自主運行路線名

大久保上滝沢線

藤枝駅ゆらく線

駅南循環線

朝比奈線

藤岡市立病院線

西焼津駅水守線

藤枝駅光洋台線

大手市立病院線

藤枝岡部線

平成25年度頃~

収支率を基準に 効率的な運行方法を 検討

乗車密度は低いが、 常に少人数の利用が 見込める 検討結果

児童・生徒が通学に利用 通勤、通学時間帯に 10~20人程度乗車

自主運行バス(中量輸送) として存続

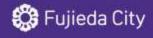
デマンドタクシーに

バス停型乗合タクシー 「藤枝駅広幡線」に

バス停型乗合タクシー 「藤枝駅光洋台線」に

バス停型乗合タクシー 「五十海市立総合病院線」に

廃止



(6) 乗合タクシーによるネットワーク確保

② 乗合タクシーの運行・充実

市内タクシー事業者(4者中)3者に運行委託



1事前に電話予約

ご利用の便の予約締切 時間までに電話予約を お願いします。

FAXでも予約できます。



②バス停まで行く

予約の時刻にバス停までタクシー車両が迎え に行きます。

バス停には時刻表の時間までにお越し下さい。



③乗降する

利用者が複数いる場合 には乗合いになります。 バス停以外では乗降で きません。



ネット予約 受付 令和5年度中 開始予定

※予約の際に伝えること

1バス停型乗合タクシーの利用であること 2お名前 3利用する便と乗降するバス停 4利用する人数

- (6) 乗合タクシーによるネットワーク確保
 - ③ 乗合タクシーのメリット
 - ●大量輸送の必要のない地域の公共交通として 効率的な運行が可能 タクシー車両を有効に活用 タクシー事業所の配車機能を有効活用
 - ●乗降場所のきめ細かで柔軟な設定が可能 小回りの利くタクシー車両での運行のため 地域住民の要望にきめ細かに対応可能
 - ●都市機能としての公共交通の維持・向上が可能 居住誘導区域の利便性・拠点間ネットワークを確保



(7) 既存の公共交通に頼れない ニーズへの対応

超高齢社会における 高齢者の「足」の課題意識の増大

- →既存の公共交通では解決できない課題
 - 交通部門と福祉部門等の連携 行政と住民との連携
- ■地域住民主体の移動支援サービス創出
- ⇒地域支え合い出かけっCARサービス支援事業
- ★買い物・通院の支援のための移動支援が波及 運転ボランティアを組織化 ⇒ 10地区中6地区
 - ※「出かけっか」は方言で、「出かけようか」という意味

(7) 既存の公共交通に頼れない ニーズへの対応

○市直営の高齢者等外出支援デマンドバス 「ふじえだ足すと号」 (無償運送) の運行



ふじえだ足すと号の出発式



ふじえだ足すと号に 乗り込む高齢者

公共交通に頼れない 高齢者等の通いの場等への 移動サービス 通いの場運営団体と連携して実施

○自家用有償旅客運送登録権限移譲 支援制度創設による移動資源確保

要介護者・要支援者などへの移動手段の確保

福祉有償運送2団体創出

■「誰もが快適に移動できるまち」の実現に向けたまちづくり

2 次世代を見据えた共創

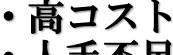
~共創プラットフォームへの支援~

(1) 次世代交通システムに関する意識

AIやデジタル技術を活用した交通システムの 導入の検討

- ■市交通部局の 移動サービス運営上の ニーズ
- ■現実

- 効率化
- ・低コスト化
- 人手不足解消
- ・ 利便性の向上



・人手不足解消につながらない

・システムを使い こなせない



(1) 次世代交通システムに関する意識

AIやデジタル技術を活用した交通システムの 導入の検討

本市の交通部門における意識としては…

民間主導の取組への支援



(2) 静鉄タクシー(株)からの相談

- Q1 オンデマンド型の新たな移動サービスの創設に ついて、藤枝市で実施するとしたら候補となる エリアはあるか?
- Q2 実施する場合、市のバックアップは得られる か?
 - A1 民間主導で独立採算を目指すのであれば、 駅周辺の中心市街地を中心としたエリア
- A2 1事業者単独での事業で行うのではなく、公共性 の高さが説明できる事業であればバックアップ可能



(2) 静鉄タクシー(株)の事業の考え方

- ・静鉄タクシ―がCommunityMobility㈱がもつ移動情報の 分析力を強みに感じ、同社を連携先に選択。
- ・静岡鉄道グループ及び地域の商業者との連携を行い、 MaaSを見据えたAIオンデマンド交通を運行したい。
 - ・市内タクシー事業者にも参画を呼び掛ける。
- ・先進的な事業展開を行うことで、若い世代の運転手確保につなげ、人材不足の解消を図る。
- 市民の利便性を向上させ、新たな移動ニーズを掘り起こし、地域経済の活性化を目指す。
- ・地域の課題解決の手段として活用し、地域全体で交通を支える仕組みを構築する。

⇒市として連携・協力を決定

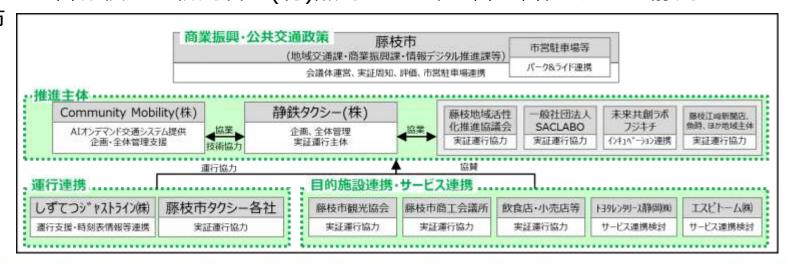
(3) 藤枝市AIオンデマンド交通による まちなか回遊・行動変容事業の概要

事業実施主体

【共創プラットフォーム】藤枝市交通×まちづくり共創 プラットフォーム 【実施主体】静鉄タクシー株式会社

【共創パートナー】Community Mobility㈱、しずてつジャストライン㈱、 藤枝地域活性化推進協議会、(一社) SACLABO、 ㈱藤枝江﨑新聞店、(有)魚時、エスピトーム㈱、㈱トヨタレンタリース静岡

【協力】藤枝市



(3) 藤枝市AIオンデマンド交通による まちなか回遊・行動変容事業の概要

地域課題

- 既存の公共交通が移動ニーズをカバー しきれていない。
- ・ 交通事業者のドライバー不足と高齢化





乗降場所から乗降場所を移動 AIによる効率的なルート設定

実証事業の内容

- 持続可能な地域交通のあり方を議論し、エリアや価格を設定
- ・ 藤枝市立地適正化計画の「都市拠点」でAIオンデマンド交通 の実証運行
- ・ 地域商業者との連携、一体となった収益確保を検証
- 路線バスやデマンドタクシー、レンタカー、シェアサイクリング等との乗継ぎ促進、パーク&ライド等利用者ニーズに合った移動手段を提供

(4) 事業における市行政の役割

- ・実証実験の検証・効果の確認・既存公共交通との 連携・機能分担の検討
- ・地域課題の整理及び解決手法の決定意見調整
- 行政、商業者、住民団体等との協議の場の設定
- ・実用化に向けてのイニシャルコストの支援
- ・公共交通の再編に伴うオンデマンド交通の運営支援



実用段階におけるコンソーシアム立上げ 事務局機能担当を想定

(5) 共創プラットフォームの構成

藤枝市交通×まちづくり共創プラットフォーム 全体会議

移動サービス・ デザインWG

路線バスやタクシー、Alオンデマンドのベストミックス(利便性と事業性の最大化)

共創・ プロモーションWG

- 移動ニーズ調査
- ワークショップ 企画
- Alオンデマンド の活用方法検討
- 異業種との連携 による共創企画 推進
- 周知・告知活動 の企画実施

公共政策WG

- 藤枝市の政策 課題解決にむ けた公共交通 活用
- 藤枝市の移動 資源*のとりま とめ

運行WG

- ・ 安全運行・運行 管理
- 運行サービス立 案
- ・ 運行データ分析
- 利用者アンケー ト調査
- 利用実績分析

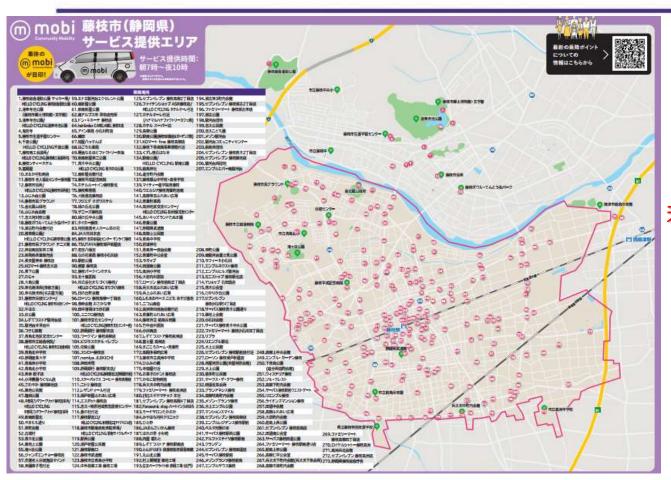
(5) 共創プラットフォームの構成

ŭ.		
WG	WG役割	メンパー
-	・バス、タクシー、Alオンデマンドのベス	
	トミックス (利便性と事業性の最大化)	しずてつジャストライン
	・移動サービス要件整理	藤枝タクシー
	・実証運行エリアとサービス内容案検討	志太交通
移動デザインWG	【取組】 ①地域移動デザイン構築連携	トヨタレンタリース静岡
	①地域移動デザイン博業建携 ②情報連携(アプリ上表示&まちあるき	ハローサイクリング(まちづくり藤枝・市)
	マップ)	中心市街地活性化推進課
	③特典連携(特典&割引等)	地域交通課 新交通推進係
		Community Mobility
	<広報>	藤枝地域活性化推進協議会
	・Alオンデマンドの活用方法検討	一般社団法人SACLABO
	・異業種との連携による共創企画推進 ・周知・告知活動の企画実施	未来共創ラボフジキチ
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	江崎新聞店
	・集客方法の立案・実行(イベント実	藤枝市観光協会
	施)	藤枝市商工会議所
	・ポスティング実施	魚時
		エスピトーム㈱
共創・プロモーション	くニーズ>	静鉄スーパー
コミュニティ創造WG	・藤枝市移動ニーズの調査	しずてつストア
	・ワークショップ企画、実施	白子商店街(青陰さん)
	・ロコミ施策(ママ友、若手、オピニオ ンリーダー、地域創生等)	地域交通課
	フリーター、地域剧生寺/	こども課 子育て応援係
		教育政策課
		スポーツ振興課 スポーツ推進係
		地域包括ケア推進課 介護予防係
		協働政策課 地域協働推進係
		産業政策課 産業政策担当
	****	Community Mobility
	・藤枝市の政策課題解決にむけた公共交	地域交通課
	通活用 ・藤枝市の移動資源のとりまとめ	企画政策課 都市創生担当
	(移動資源:財源・車両・担い手)	情報デジタル推進課 スマートシティ推進係
	(1920) 200 (1910) 410 (1910)	観光交流政策課
		中心市街地活性化推進課
		スポーツ振興課・サッカーのまち推進課
		都市政策課
11 11 W. Maria		福祉政策課
公共政策WG		地域包括ケア推進課
		こども課
		商業振興課 商業係
		企業立地戦略課 産業集積推進係
		市立病院 病院総務課 総務係
		教育政策課
		静岡産業大学
		静鉄タクシー
		Community Mobility
	・アプリシステム設定	静鉄タクシー
運営WG	・オンデマンド交通の運行 ・日々の運行管理	しずてつジャストライン
	・ロ々の運行官理	Community Mobility
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	<u> </u>

民間19団体・法人 市行政17課が参画

運行エリア、乗降ポイント、 料金設定、移動に関するニー ズを持つターゲットへのプロ モーション方法、課題解決へ の活用方法などを協議

(6) 運行エリア・乗降ポイント



都市機能誘導区域 (都市拠点)を 中心としたエリア

都市機能誘導区域 (文化交流拠点) への移動が可能

乗降ポイント 約273か所程度

(7) 運行概要

■運行実証期間

2023年11月1日(水)~2023年12月31日(日)

■運行時間

毎日朝7時~夜10時

- **■電話予約可能時間** 毎日朝10時~夜19時
- **■運行会社** 静鉄タクシー株式会社
- **【運行台数** ジャンボタクシー2台
- 対象者

どなたでも

■乗降場所 市内約200カ所



• 普通旅客運賃表





種別	大人	小児
均一運賃	500円	250円

・乗り放題パス旅客運賃表

期間	大人	学生	家族会員
1ヶ月	6,000円	3,600円	500円

• 回数券旅客運賃表

回数	大人	学生
3回	1,200円	1,000円
5回	2,000円	1,600円
10回	3,000円	2, 400円
20回	5,000円	4,000円

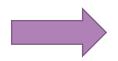
• 1日券旅客運賃表

期間	大人・学生
1日	1,000円

(8) 事業を進める中で見えてきた 地域の移動ニーズ

- ・駅周辺の集合住宅在住の家族はマイカー1台持ちが 多く、日中子育て中のママは移動に困っている。
 - ・駅周辺の学習塾の送迎で渋滞が生じている。
- ・小・中学生のスポーツ少年団やクラブの送迎を家族が担わなければならない。
- ・中学校の部活動の学校統合により、他校へ移動する必要が生じている。

など



短期的、中期的に解決手法を整理

(9) 今後の想定スケジュール



令和5年11月

12月

実証運行開業開始式典(11/1) 実証運行

令和6年1月

事業費精算

2月

効果と課題のとりまとめ・検証

3月

次年度計画検討

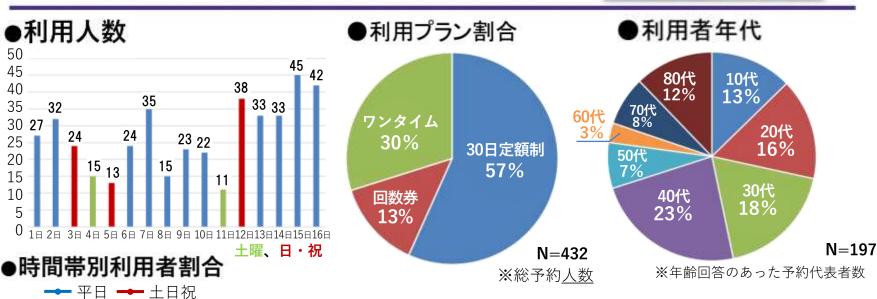
令和6年度 実験を踏まえての実証運行

令和7年度 本格運行



(10) 運行実績







- ・利用人数は30人/日程度(延べ数)だが、日を追うごとに増えている。
- ・時間帯別で見ると平日・土日祝日で利用の多い時間帯が大きく異なる。
- ・ワンタイム乗車が比較的高い割合を示しているため、試しに1度という気持ちで乗車した利用者がその後定額プラン等へ移行する動きが期待される。
- ・比較的若い世代を中心に、幅広く利用されている。

おわりに



都市の機能の重要な役割を果たす地域交通の充実に当たっては、そこに住み、訪れ、働く人たちの暮らしに寄り添い、ニーズを探ることが重要であり、ステークホルダーとともにまちを共に創る視点が重要である。

藤枝市は、未来に飛躍できるまちを創るため、暮らしの質を高める地域交通を充実し、 共創のまちづくりを推進していく。